

2022.3
創刊号



男女共同参画ハンドブック

STEP by STEP



とよなか男女共同参画推進センター すてっぷ

こんにちは、とよなか男女共同参画推進センターすてっぷです。

すてっぷは、すべての人が性別にかかわりなく個性や能力を発揮して責任を分かち合える社会=ジェンダー平等社会をめざして設置された豊中市の拠点施設です。

「女はこうあるべき / 男はこうあるべき」

ジェンダーによる決めつけや思い込みは私たちの身近にたくさんあります。

このハンドブックでは、ジェンダーにまつわるよくある疑問をピックアップしました。決めつけや思い込みにモヤモヤしたり、社会の仕組みに疑問を感じたとき、このハンドブックが考えるヒントになるかもしれません。

“STEP by STEP”Contents

「ジェンダー」ってなに? 「性別役割分担意識」ってなに?	01
「アンコンシャス・バイアス」ってなに?	02
日本は男女平等?	03
家事・育児の分担 家事も育児も妻の私がしないと!	04
男性の働き方 男の自分が稼がないと!	06
女性の働き方 働く女性は増えたけれど...?	08
女性の政治参画 女性は政治に向いてない?	10
シングルマザー シングルマザーってどう大変なの?	12
性的マイノリティ 性ってどんなふうに多様なの?	14
職場のハラスメント これってハラスメント?	16
データDV 束縛は愛されてるってこと?	18
もっと知りたい!	20

「ジェンダー」ってなに?

生物学的な性別をセックス(Sex)、社会の中でつくられた性別をジェンダー(Gender)といいます。ジェンダーは「女らしさ/男らしさ」といわれるものです。



「女らしさ/男らしさ」のイメージは私たちの周りにたくさんあります。けれども、女性だからといって「女らしさ」のイメージがすべて当たるわけではありません。男性も同じです。

ジェンダーの枠に縛られると、自分らしく生きるのが難しくなってしまいます。

「性別役割分担意識」ってなに?

こんな考え方を見聞きしたことはないでしょうか。

女性は補助的な仕事をすべきだ	リーダーは男性がすべきだ	食事の配膳は女性がすべきだ	男性が妻子を養うべきだ
----------------	--------------	---------------	-------------

「男は仕事」「女は家庭」とジェンダーの枠で役割を分ける考え方を性別役割分担意識といいます。

性別で役割を固定すると、その人自身が持つ個性や能力が発揮できず、生きづらさや男女間の格差につながります。

「アンコンシャス・バイアス」ってなに？

次の職業から人物像を思い浮かべてみてください。



思い浮かべた人物は女性でしたか、それとも男性でしたか。

どちらかの性別に偏っていましたか。職業が保育士や看護師の場合はどうでしょうか。

「医者は男性」「看護師は女性」と結びつけた人もいるかもしれません。

私たちが持っている無意識の思い込みや偏見のことをアンコンシャス・バイアスといいます。

アンコンシャス・バイアスは誰でも持っていますが、気をつけていないと悪影響を及ぼします。例えば「女の子は理系が苦手」という決めつけは、進路の選択肢を狭めてしまう恐れがあります。前のページで紹介した性別役割分担意識もアンコンシャス・バイアスに含まれます。

「こうあるべき」「普通はこうだ」と感じたときが自分の中のアンコンシャス・バイアスに気づくチャンスです。性別にとらわれないものの見方や価値観は私たちの可能性を広げてくれます。

日本は男女平等？

日本では1986年に男女雇用機会均等法、1999年に男女共同参画社会基本法が施行されました。かなりの年月が経ちましたが、日本は男女平等になったでしょうか。

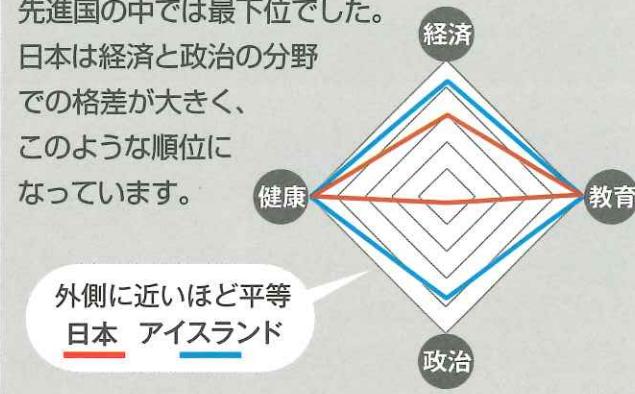
世界経済フォーラムが発表している「ジェンダー・ギャップ指数」という指標があります。経済・政治・教育・健康の4つの分野で各国の男女格差を指数化し、ランキングしたものです。

2021年の日本の順位は **156ヶ国中 120位**

先進国の中では最下位でした。

日本は経済と政治の分野

での格差が大きく、
このような順位に
なっています。



経済と政治の格差はこのハンドブックで取りあげているトピックにも大きく関わりがあります。

出典 世界経済フォーラム「Global Gender Gap Report 2021」

- 1 アイスランド
- 2 フィンランド
- 3 ノルウェー
- 4 ニュージーランド
- 5 スウェーデン
- 6 ナミビア
- 7 ルワンダ
- 8 リトアニア
- 9 アイルランド
- 10 スイス
- 11 ドイツ
- 12 ニカラグア
- 13 ベルギー
- 14 スペイン
- 15 コスタリカ

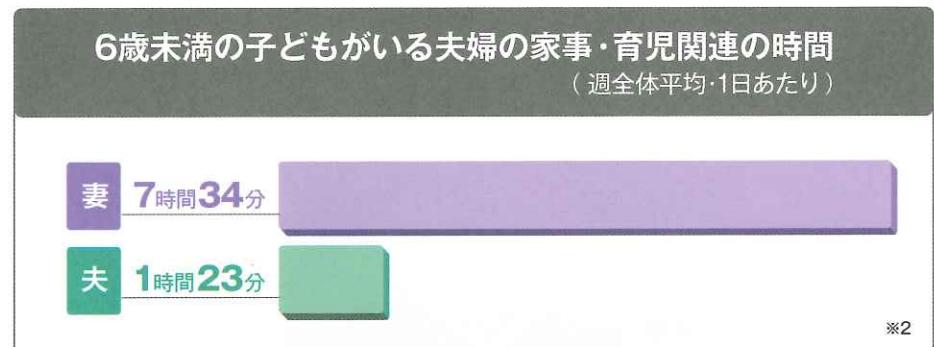
- 100 アゼルバイジャン
- 101 インドネシア
- 102 韓国
- 103 カンボジア
- 104 セネガル
- 105 トーゴ
- 106 ネパール
- 107 中国
- 108 キルギス
- 109 ミャンマー
- 110 モーリシャス
- 111 ブルネイ
- 112 マレーシア
- 113 フィジー
- 114 アルメニア
- 115 マラウイ
- 116 スリランカ
- 117 ガーナ
- 118 ギニア
- 119 アンゴラ
- 120 日本**
- 121 シエラレオネ
- 122 グアテマラ
- 123 ベナン
- 124 ブルキナファソ
- 125 タジキスタン

家事・育児の分担

家事も育児も 妻の私が しないと!?



「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」と考える人は減ってきています。^{※1}
とはいって実際は、**女性の方が多く家事や育児に時間をかけているのが現状です。**



家事や育児を一人で引き受ける「ワンオペ育児」は、大きな負担がかかります。ワンオペ育児ではなくても、「毎日のメニューを考えて買い出しだるのは妻か夫か」「子どもが熱を出したら仕事を休むのは妻か夫か」と具体的に考えたとき、**妻がやるものといった思い込みはないでしょうか。**

「家事・育児は女性の仕事」といった固定観念に加えて、社会の仕組みも大きく影響しています。

例えば、正社員で働いていても女性と男性では収入に差があります。子育て世帯で妻と夫のどちらかが時短で働く場合、収入がなるべく減らない選択をする人は多いでしょう。待機児童問題があるように、子どもの預け先が見つからなければ妻が仕事を辞めて家事・育児に専念することになるかもしれません。

正社員男女の賃金格差

女性 正社員	269.2万円	男性の76.8%
男性 正社員	350.7万円	

※3

積極的に家事や育児に取り組みたいと考える男性にとっては、長時間労働が妨げになります。妻が専業主婦でも共働きでも、男性が家事・育児に使う時間はあまり違いがありません。一方で、共働きの女性は仕事に使う時間は男性のおよそ半分となっています。^{※2}

家事や育児は暮らしの中で欠かせない仕事です。

「女性だから」と性別で役割を決めてしまわないように、私たちの考え方も社会も変えていきましょう。

出典

※1 「令和元年 男女共同参画社会に関する世論調査」(内閣府)

※2 「平成28年 社会生活基本調査」(総務省統計局)

※3 「令和2年 賃金構造基本統計調査」(厚生労働省)

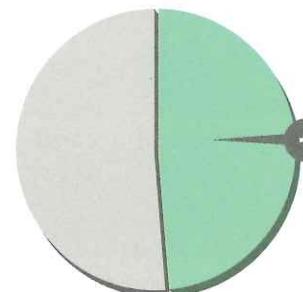
男性の働き方

男の自分が稼がないと!?



「一家の大黒柱」と言わされたとき、思い浮かべるのは女性と男性どちらでしょうか。内閣府の調査^{※1}では、半数近くの人が「男性は仕事をして家計を支えるべきだ」と考えているという結果が出ています。

男性は仕事をして家計を支えるべき



そう思う 48.5%

※1

男性自身が家計に対して責任を感じていて、周囲からも同じプレッシャーがかかっているのがうかがえます。「共働きでも男性は家庭よりも仕事を優先するべき」という考えに「そう思わない」と答えた人は73%。「男は稼がないと」と思いつつも、家庭も大切だと多くの人が感じているのです。

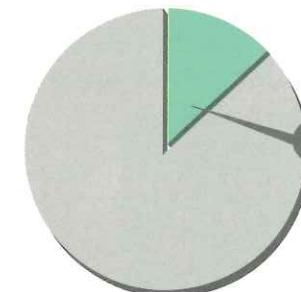
働く男性の22%が週49時間以上の長時間労働をしています。^{※2}

特に30代から40代の子育て世代では、ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)が取りにくく、家事や育児をやろうと思っても余力がない男性が多いのではないでしょうか。

長時間労働は心や身体にマイナスの影響を及ぼします。過労死と認定された人のうち90%以上が男性です。^{※3} また、男性の長時間労働は、女性が全面的に家事や育児を引き受ける形で回っています。そのためキャリアを中断せざるを得なくなるなど、女性にも大きな負担がかかっています。

女性の育児休業取得率は82%です。男性の取得率は年々上がっていますが、やっと10%を超えたところです。^{※4} 加えて、あまり長期間の育休は取れていないのが現状です。

男性の育児休業
取得率



取得した 12.7%

※4

性別で仕事と生活の分担を決めるのではなく、責任を分かち合う社会に変えていく必要があります。

出典

※1 「令和3年度 性別による無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)に関する調査研究」(内閣府男女共同参画局)

※2 「2021年 労働力調査(基本集計)」(総務省統計局)

※3 「令和2年度 過労死等の労災補償状況」(厚生労働省)

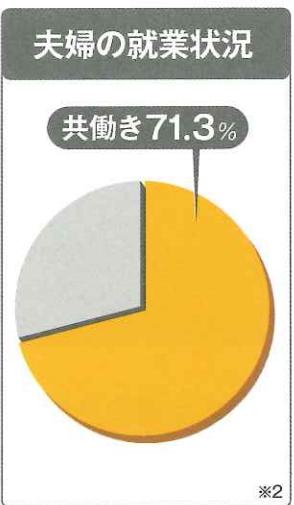
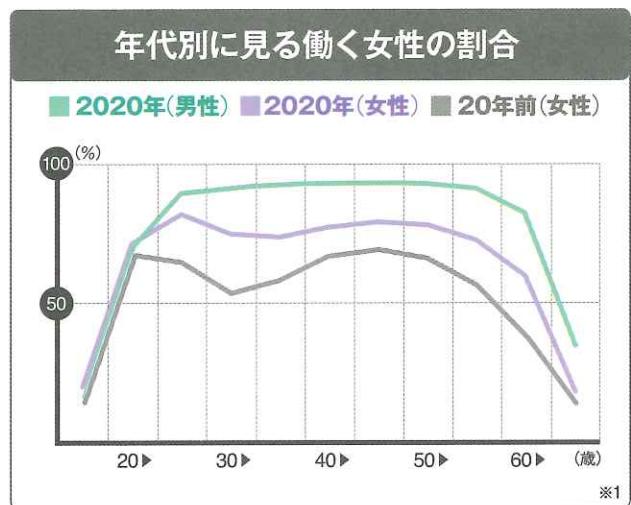
※4 「令和2年度 雇用均等基本調査(女性雇用管理基本調査)」(厚生労働省)

女性の働き方

働く女性は 増えたけれど...?

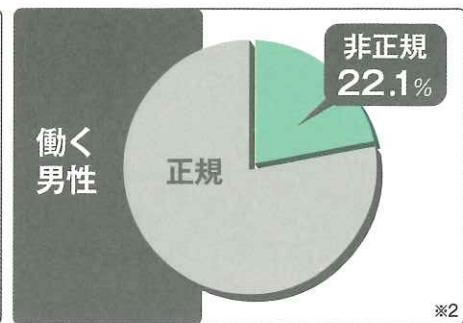
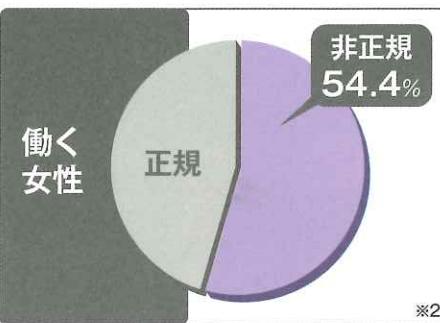


働く女性は増えました。特に、結婚や出産後も働き続ける女性が多くなり、現在は共働き世帯が70%を超えました。



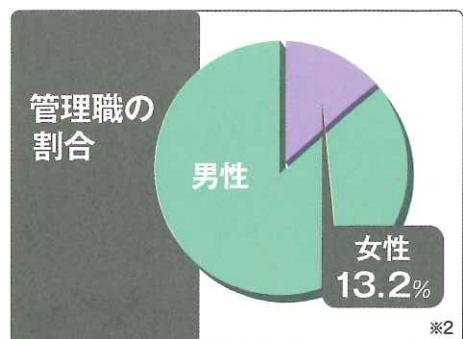
とはいっても、働く女性の割合は男性には届いていません。
20代から40代半ばの女性が働いていない理由で最も多いのは「出産・育児のため」です。※3

働く女性が増えたといつても、男性と変わらない働き方をしているのでしょうか。例えば、**働く女性の半数以上がパートや派遣など非正規雇用**です。配偶者がいない女性に絞っても約40%が非正規雇用です。



さらに、男女間の賃金格差は世界156か国中ワースト2位という結果が出ています。※4 日本の**女性の賃金は男性の74%です。※5** さらに、**女性の管理職が少ないのも現状です。※2**

男性が世帯の稼ぎ主だった時代から少しずつ社会は変化していますが、男女間の格差は残っています。
女性が活躍できる社会の仕組みづくりが必要です。



出典

※1 「労働力調査 長期時系列データ(基本集計)」(総務省統計局)

※2 「2020年 労働力調査(基本集計)」(総務省統計局)

※3 「平成29年 就業構造基本調査」(総務省統計局)

※4 「The Global Gender Gap Report 2021」(世界経済フォーラム)

※5 「令和元年 賃金構造基本統計調査」(厚生労働省)

女性の政治参画

女性は 政治に向いて ない?



これまで日本では女性が内閣総理大臣になったことはありません。これまでの101代全員が男性です。閣僚の集合写真を見ても女性が圧倒的に少ないとわかるはずです。

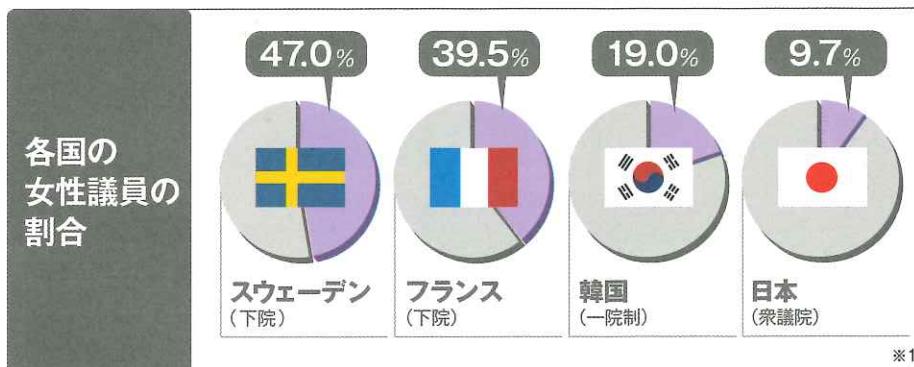
日本の人口の約半分は女性ですが、衆議院議員の女性比率は9.7%。世界190か国中165位、OECD諸国最下位です。^{※1} 国民の代表である議員に女性が少ないと、女性の声が反映されにくくなります。

衆議院議員の女性比率は約10人に1人



「ガラスの天井」という言葉があります。男性と同じように能力や実績があっても、女性が一定以上の地位につくのを阻む障壁のことです。制度を決める意思決定の場に女性がいない、「リーダーは男性」という思い込みなどがガラスの天井を作っています。

女性の政治参画が進んでいる国では、多くの場合クオータ制を取り入れています。クオータ制は、格差をなくすために性別などを基準にして、議席や候補者の一定数を割り当てる制度です。2020年にはクオータ制を敷いている国と地域は約60%になりました。^{※2} 日本では2018年に候補者均等法（政治分野における男女共同参画の推進に関する法律）が施行されました。数値目標は努力義務となっていてペナルティはありません。



地方議会での女性の割合は、都道府県議会議員で11.5%、市区町村議会で14.8%です。女性議員が一人もいない議会もあります。^{※3} ガラスの天井だけではなく、子育てと政治活動の両立、立候補者や議員へのセクシュアル・ハラスメントなど課題は多くあります。女性議員が増えることで、男性中心の制度や慣習が変わり、ジェンダー平等な社会へ向かうことが期待されます。

出典

※1 IPU(列国議会同盟) 2021年11月時点

※2 「諸外国における政治分野の男女共同参画のための取組」(内閣府男女共同参画局)

※3 「地方公共団体の議会の議員及び長の所属党派別人員調」(総務省)
令和2年12月31日現在

シングルマザー

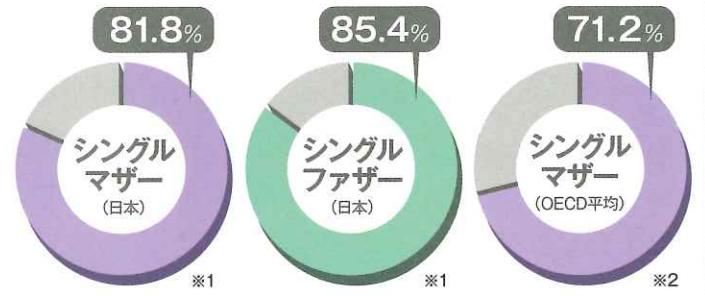
シングル マザーって どう大変なの?



ひとり親世帯は全国で約142万世帯、そのうち87%がシングルマザー世帯です。※1 シングルマザーは仕事と家庭の責任を主に一人で担っています。

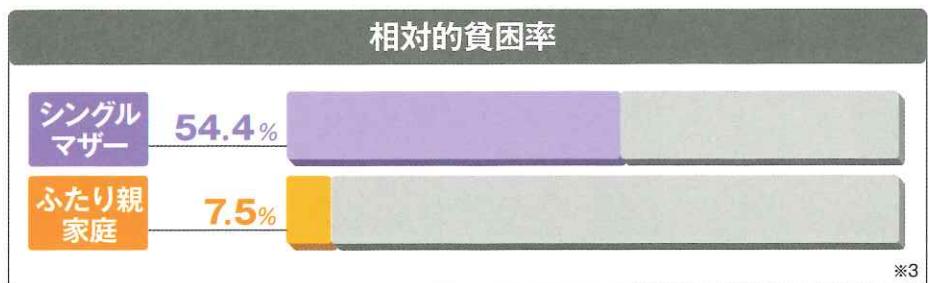
日本のシングルマザーの就業率はシングルファザーとあまり違いはありません。海外と比べても日本の**シングルマザーの就業率は高い**ことがわかります。

働いている
ひとり親の
割合



多くのシングルマザーが働いていますが、収入はシングルファザーと大きな差があります。**シングルマザーの平均年間就労収入は約200万円で、シングルファザーの半分程度です。**

平均的な世帯所得の半分未満の所得であることを「相対的貧困」(備考参照)といいます。シングルマザー世帯の半数以上が相対的貧困にあるという調査結果があります。



暮らしが苦しいと感じているシングルマザーは多く、32%が過去1年間に必要な食料が買えない経験をしています。※3
厳しい暮らしの状況は、子どもの生活や教育にも影響します。行政や民間でシングルマザーへの支援は進められていますが、充分とはいえない。シングルマザー世帯の親子が安心して暮らせる支援が求められます。

出典

※1 「平成28年度 全国ひとり親世帯等調査」(厚生労働省)

※2 「OECD Family database」(OECD) 2019年の数値

※3 「令和3年 子供の生活状況調査の分析 報告書」(内閣府)

備考

「相対的貧困」: 世帯の所得が等価可処分所得の中央値の半分に満たない状態

性的マイノリティ

性って どんなふうに 多様なの?



最近、テレビやネットでLGBTという言葉に触れる機会が多くなりました。LGBTは性的マイノリティを表す言葉のひとつです。LGBT以外の性的マイノリティを含めてLGBTQ+と表現されることもあります。

L レズビアン (女性 同性愛者)

- 性自認は女性です
- 女性が恋愛対象です

B バイセクシュアル (両性愛者)

- 性自認は女性です
- 性自認は男性です
- 女性と男性どちらも恋愛対象です

G ゲイ (男性 同性愛者)

- 性自認は男性です
- 男性が恋愛対象です

T トランスジェンダー (心と身体の性が一致しない人)

- 生まれた時の性は女性です
- 生まれた時の性は男性です
- 男性として暮らしています
- 女性として暮らしています

性(セクシュアリティ)は4つの要素の組み合わせでできています。

身体の性

生まれた時の性

性的指向

好きになる性

性自認

認識している心の性

性別表現

服装などで表現する性

性(セクシュアリティ)の要素は、女性・男性の二択ではなくグラデーションになっています



「どちらかといえば女性」「どちらでもない」というように感じ方は人それぞれ違います。4つの要素の組み合わせは多様です。

性(セクシュアリティ)はプライバシーに関わることです。執拗に聞き出そうとしたり、本人の許可なく言いふらすこと(アウティング)があってはいけません。

民間調査では性的マイノリティに該当すると答えた人が8.9%いました。11人に1人の計算です。^{※1}

性(セクシュアリティ)の形によらず、その人らしく生きられる社会をめざしましょう。

出典

※1 「LGBTQ+調査2020」(電通ダイバーシティ・ラボ)

職場のハラスメント

これって
ハラスメント?

こんな簡単な仕事もできないのか!

パワハラ
パワー・ハラスメント

女の子が入れたお茶はおいしいな

セクハラ
セクシュアル・ハラスメント

つわりでそんなに休まれたら困るよ

マタハラ
マタニティ・ハラスメント

発言した側に悪気がなかったとしても、相手が**傷ついたり、不快に感じたり、不利益を受けることにつながれば、ハラスメント**になります。

2020年6月にパワハラ防止法(改正労働施策総合推進法)と、セクハラなどの防止対策を強化する関連法もあわせて施行されました(中小企業は2022年4月より義務化)。「知らなかつた」「昔はこれぐらい問題なかつた」は通用しなくなっているのです。

厚生労働省は、次の3つすべてに当てはまる行為をパワハラとしています。

仕事上必要で適切な範囲の指示や指導はパワハラにはなりません。

1 優越的な関係を背景とした言動

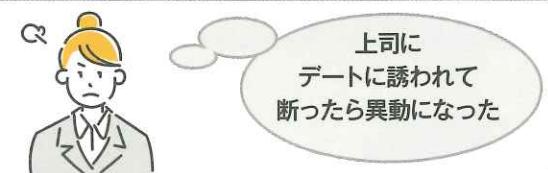
2 業務上必要かつ相当な範囲を超えたもの

3 労働者の就業環境が害されるもの

職場で起こるセクハラには、対価型と環境型があります。

対価型セクハラ

性的な言動を拒否したために不利益を受けること



環境型セクハラ

性的な言動によって仕事に支障が生じること

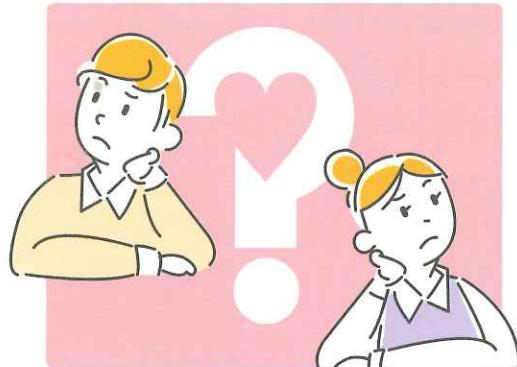


妊娠・出産をしたことにより嫌がらせや不利益を受けるハラスメントは、女性に対するマタハラだけではありません。例えば、育児休業を取得した男性が職場で受ける不利益もハラスメントにあたります。

ハラスメントは職場だけに限らず、学校や家庭などどんな場所でも起こる可能性があります。「□□ハラ」という言葉は広く使われるようになりました。ハラスメントになるのを避けるには、相手の立場に配慮したコミュニケーションを意識することが大切です。

デートDV

束縛は 愛されてる ってこと?



友人が恋人からこんなことされていたら、どう思いますか?

「ブス」「バカ」といわれる

すぐ返信しないとひどく怒る

セックスをむりやり迫られる

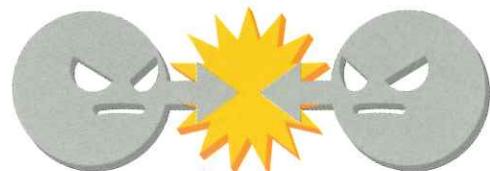
「きっとふざけているだけ」「束縛は愛されているから」「付き合ってるなら仕方がない」でしょうか。

交際中の二人の間に起こる暴力を「デートDV」といいます。

暴力は「殴る、蹴る」といった身体的な暴力だけではありません。傷つける言葉ばかりを言うような精神的な暴力、友人と会うのを制限するような社会的な暴力、性的な写真をインターネット上で同意なく流すような性的な暴力などがあります。

暴力はケンカとは違います。ケンカは相手と対等な立場でやりあいます。それに対して、**相手を自分の思い通りに支配(コントロール)しようとするのが暴力**です。

ケンカ 相手も自分も対等に主張できる



デートDV

一方が強要等して支配する



相手の気持ちを無視して自分の思い通りに支配(コントロール)するのは、愛情ではありません。

デートを優先しないと不機嫌になる

浮気をしていないかスマホをチェックする

言うことを聞かないと「別れる」とおどす

相手を思っているのではなく、自分の欲求を満たしたい

交際相手に「こうしたい」「こうしてほしい」と伝えるときは、相手はどう思っているか確かめる、断られても受け止めることが大切です。お互いを尊重しあえる関係をつくっていきましょう。

暴力を受けた人は悪くありません。

デートDVではないかと思った時は、迷わず近くの相談機関に連絡をしてください。

もっと知りたい！

ジェンダーについてわかりやすく学べる
本、DVD、役立つサイトを紹介します。

ブックリスト（すべて情報ライブラリー所蔵）



**ジェンダーについて
大学生が考えてみた**
あなたがあなたらしくいられるための29問

佐藤 文香：監修
■明石書店



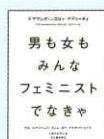
「男女格差後進国」の衝撃
無意識のジェンダー・バイアスを克服する

治部 れんげ：著
■小学館



**あの時も「こうあるべき」が
しんどかつた**
ジェンダー・家族・恋愛

バレットーク：著
■シンコー・ミュージック・エンタテイメント



**男も女もみんな
フェミニストでなきゃ**

チママンダ・ンゴズイ・
アディーチェ：著
■河出書房新社

DVD（すべて情報ライブラリー所蔵）

映像で学ぶジェンダー入門

- ①男らしさ/女らしさ
- ②多様な「性」
- ③結婚・家庭におけるジェンダー
- ④労働とジェンダー
- ⑤性暴力と性の商品化

サイト

内閣府男女共同参画局 <https://www.gender.go.jp/>

女性の政治参画やDVに関する情報など
男女共同参画の総合サイト



みなさんのジェンダーにまつわる疑問はこのハンドブックに登場したでしょうか。

今回ピックアップした疑問の他にも、私たちの日常の中にはジェンダーによる決めつけから起こっている問題はたくさんあります。

- どうして保育や介護の仕事は給料が安いのか
- どうして無理なダイエットをする女性がいるのか
- どうして定年後の過ごし方に迷う男性がいるのか
- どうして避難所の運営は男性が中心になるのか

疑問は始まりの第一歩です。

すべてと一緒に答えを考えて、ジェンダーの問題を解決ていきましょう。

●企画・編集・発行

とよなか男女共同参画推進センターすべて

指定管理者:一般財団法人とよなか男女共同参画推進財団

TEL 06-6844-9735 FAX 06-6844-9706

●発行日

2022(令和4)年3月31日



■情報ライブラリー

男女共同参画社会の実現に向けた専門図書室です



■相談

あなた自身の力を大切にしながら次の一步を踏み出す応援をします



■講座・イベント

男女共同参画を推進するための講座、イベントを実施しています

■貸室

市民活動など非営利のイベント等に利用できます

とよなか男女共同参画推進センター すてっぷ

指定管理者：一般財団法人とよなか男女共同参画推進財団



〒560-0026 大阪府豊中市玉井町 1-1-1-501

TEL 06-6844-9772(代表) FAX 06-6844-9706

■開館時間 9:00~21:30(水曜・年末年始 休館)

<https://toyonaka-step.jp/>



@toyonaka_step

